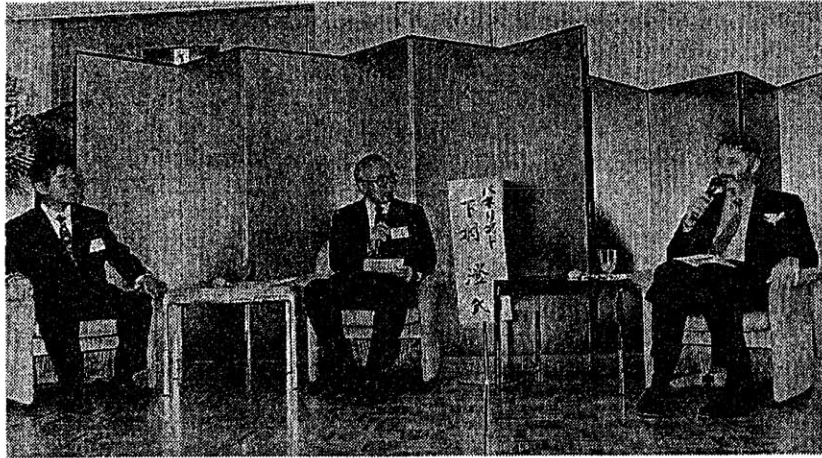


1994.11.27 山陰中央新報



国際経済について意見を交換するパネリスト＝松江市千鳥町、ホテル一畑

# 時代は「組織から個人」

## 講演など国際経済学が

松江で神在月  
全国大会

激動する国際経済など世界レベルの問題を、全国の

神々が集う出雲の地で考えようという、「神在月縁むすび全国大会」（同会実行委員会、県、県商工会連合会主催）が二十六日、松江市千鳥町のホテル一畑で行われた。

大会には県内外の財界人ら約二百六十人が参加。まず、英国クラインオートベソン証券会社ストラテジストのピーター・タスカが

んが「企業家精神の回復と日本の元気の回復」のテーマで基調講演。「世界的不況で資本主義が行き詰まる中、日本経済も成長から成熟に向かわなければならぬ」と主張。また「企業が人材を育てるのではなく、優れた人材が企業を興す」と、システムの時代から個人の時代への変化を強調した。

基調講演を受けてパネリストのディスカッションがあり、小松昭夫小松電機産業社長、下村澄社団法人ニュービジネス協議会相談役をコメンテーターにタスカさんと討論。産官学のかかわり方などについて積極的な意見が交換された。